政治・宗教思想研究会／関西神学塾

連続講座の案内

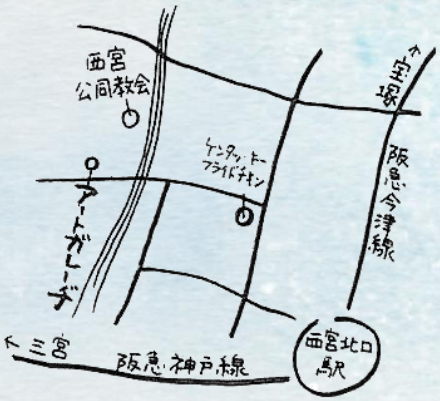
# 自然死（老衰）での看取りに随伴する様々な心の葛藤に、

# 家族はどう向き合ってきたのか？

日　時：2026年3月27日（金）午後6時～8時

場　所：西宮公同教会 集会室

〒662-0834 西宮市南昭和町10－22
0798－67－4691
阪急西宮北口駅より 徒歩3分




講　師：三浦 耕吉郎

参加費：500円

**三浦 耕吉郎**

1956年、山口県生まれ。
関西学院大学名誉教授。
専門は、生活史、差別問題、環境社会学、質的調査法。

目の前で苦しそうに喘いでいる（ように見える）死に逝く人にたいして「（医療的に）何もしない」ことは、どうしてもそばで見守る者に次のような心の葛藤を呼び起こしがちです。もしも、ここで適切なかたちの積極的な医療措置をとるならば、またもとのように「回復」することもあるのではないだろうか、と……。

しかし終末期においては、これ以上の回復は不可能と判断された時点で、それまでおこなっていた医療的措置を取りやめるかどうかの最終的な決断を迫られるときが必ずやってきます。その意味では、このような葛藤そのものは、誰にとっても避けることのできない普遍的なものといえるでしょう。今回の講座では、自然な看取りをめざした私たち家族が遭遇した様々な葛藤を詳細に描くとともに、私たち自身がそれらとどのように向き合っていったのかを振り返りたいと思います。

主催：関西神学塾
協力：障害児・者情報センター
問合せ：西宮公同教会
西宮市南昭和町 10-22
TEL：0798-67-4691
MAIL：koudou@gamma.ocn.ne.jp